

@v コマンド (テーブル選択) [OPM 専用]

[書式]
@v<num>

OPM テーブル定義書式で登録したテーブルを呼び出します。

使用するテーブルはあらかじめ定義されている必要があります。定義されていない番号を指定した場合はコンパイル時エラーが発生します。

設定可能範囲は 0 ~ 99 です。初期値はありません。

v コマンドか V コマンドを使用すると、テーブル指定は解除されます。

これはコンパイラ内で短い音符と各種コマンドを列挙したデータに加工して出力することにより、擬似的に機能を実現しています。そのため、多用しすぎると曲データのサイズが肥大化してしまいますので、ご注意ください。
また、ソフトウェア LFO やグライドは正常に処理されません (具体的には、音量が変わるたびに処理がリセットされます)。これらはテーブル内でデチューンを並べて表現してください。

関連

OPM テーブル定義書式 , @V コマンド , v コマンド , V コマンド